# 大学情報教育はいつまで 小中高国語教育の 後始末に追われるのか

筧 捷彦(早稲田大学名誉教授)

# JABEE認定を目指す情報系学科でユ

### 学習•教育達成目標

・文章作成、口頭発表討議等において、正確かつ論理的なコミュニケーションができ、 英語等を通して基本的な情報伝達ができる。

正確かつ論理的な文書を作成する力を身に付けるために、「文章表現法」を、情報機器を用いて文書、発表資料を作成する力と情報を収集、伝達する力を身に付けるために、「情報基礎」を設置する。円滑な相互理解のためのコミュニケーションに対する理解を深めるために、「人間関係論」、「技術業人間学」を設置する。分かり易く口頭発表する力、口頭発表に対して適切な質問と応答をする力、形式に従い技術文書を作成する力を身に付けるために、「卒業研究」を設置する。英語で簡単な意思疎通や情報交換をする力を身に付けるために、「英語」を設置する。

# JABEE認定を目指す情報系学科で記

### 文章表現法1

事実を客観的に説明し、意見を論理的に記述するなどの基本技能を身に付け、与えられた課題に沿って広く情報を収集・評価し、80分で1200字の説明文・論説文が書けるようになることを目指します。

- 1. 第1回~第7回は、すべての文種に共通する書くことの技能(文体、漢字、表記、文法、段落・構成・小見出し、添削など)についてワークシートで問題演習を行い、基本的事項を復習・整理します。
- 2. 第8回~第14回は、文章表現に関わる基本的な技能(事実を客観的に説明する方法、意見を論理的に記述する方法)を学び、与えられた課題に沿って広く情報を収集・評価し、80分で1,200字程度の説明文・論説文を作成します。

# JABEE認定を目指す情報系学科で3

### 文章表現法1

【1回】オリエンテーション「自己紹介文を書く」

【2回】書く一基礎① 問題演習「漢字・用語」

【3回】書く-基礎②問題演習「文体・用語」

【4回】書く一基礎③ 問題演習「文法」

【5回】書く-基礎④問題演習「表記」

【6回】書く一基礎⑤ 問題演習「添削」

【7回】書く一基礎⑥ 問題演習「段落・構成」

【8回】説明文作成①小見出し

【9回】説明文作成②三段構成

【10回】説明文作成③小見出し・三段構成

【11回】論説文作成準備①-材料収集-

【12回】書く一基礎⑦問題演習「事実と意見」

【13回】論説文作成①

【14回】論説文作成②

【15回】夏休み宿題:本の紹介,授業の振返り

# JABEE認定を目指す情報系学科で

#### 情報基礎1

大学における学習や生活のために十分なICT能力を修得することを目標とします。 高等学校までに修得した情報活用の実践力、コンピュータの活用力、情報社会についての知識、コミュニケーション力を確実なものにすると共に、情報社会に参画する適切な態度を身につけます。

また、これからの大学生活においてベースとなる友人関係を築くことも大切な目標です。

- ・コンピュータの基本操作・ファイル管理
- •学習支援情報システムの活用
- ・英字・日本語入力のタッチタイピング
- ・電子メール・ウェブページ閲覧
- ・ワープロソフト、表計算ソフト
- •プレゼンテーションソフト
- ネットワークエチケット、著作権 肖像権
- 情報システム・ネットワークの基礎的理解
- -協調学習

## JABEE認定を目指す情報系学科でふ

### 情報基礎1

【1回】イントロダクション(施設・ID・PW)

【2回】学習支援情報システム

【3回】タイピング練習・コンピュータの基礎

【4回】情報システムと情報系資格

【5回】情報の伝達と電子メール

【6回】情報の形態と文書作成

【7回】ネットワークの仕組み(1)

【8回】ネットワークの仕組み(2)

【9回】表計算ソフトの概要

【10回】問題解決(1)チーム演習:調査

【11回】問題解決(2)チーム演習:報告書

【12回】問題解決(3)チーム演習:発表準備

【13回】問題解決(4)チーム演習:発表

【14回】情報リテラシー基礎知識演習

【15回】修得試験と演習

# 参考書としては、例えば

本多勝一, 日本語の作文技術, 朝日文庫[新版], 2015

本多勝一,実践・日本語の作文技術,朝日文庫,1994

木下是雄, 理科系の作文技術, 中公新書 1981

三上章, 象は鼻が長い-日本語文法入門, くろしお出版, 1960

# 高校までで:情報について

#### 普通教科「情報」

- 社会と情報 80 / 情報の科学 20
- ・入学選抜への適用は ≅0
- •したがって、進学校であるほど高校 での教育は空洞化

学習指導要領改定(2022)方針 情報1(必履修)-情報の科学を核に 情報2(選択)-情報システム等 大学入試センター試験 廃止

→ 基礎学力テスト大学進学志望者学力テスト(情報科も含めて ・・・ 研究調査)

JELES-47

8

# 高校までで:国語

### 高校

国語総合一書くこと

国語表現ー(書くこと)

現代文A,Bー(書くこと)

#### 書くこと

ア 題材選択、文章の形態・文体・語句の工夫

イ 論理・構成・展開の工夫, 論拠に基づくまとめ

ウ 的確そ説明・描写等、適切な表現を使う

エ 優れた表現に接し、見方・感じ方・考え方を豊かにする

# 高校までで:国語

### 中学

「A話すこと・聞くこと」

「B書くこと」

「C読むこと」

#### 書くこと

ア 取材を繰り返して考えを深め、文章の形態・構成を工夫する

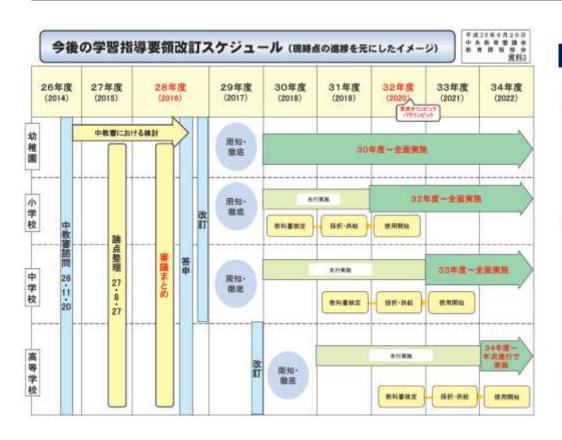
イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用し、説得力ある文章とする

ウ 書いた文章を読み返し、文章全体を整えること。

エ 書いた文章を互いに読み合い、評価しあって、自らの力と伸ばす

JELES-47 10

# 次期学習指導要領への期待ュ



国語科において育成を目指す資質・能力の整理		
知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
○言葉の働きや役割に関する理解 ○言葉の特徴やきまりに関する理解と使い分け ・書き言葉(文字)、話し言葉、言葉の位相(方言、敬語等) ・語、話句、話章 ・文の成分、文の構成 ・文文章の関係、段落、段落 と文章の関係。 と文章の関係。 ○言葉の使い方に関する理解と使い分け ・話し方、書き方、音読・朗読の仕方 ・話合いの仕方 ○書写に関する知識・技能 ○伝統的な言語文化に関する理解 ○文章の種類に関する理解 ○文章の種類に関する理解	・妥当性、信頼性等の吟味 ト構成・表現形式を評価する力 【感性・情緒の側面】 ト書葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を	・営業が持つ曖昧性や、表現による受け取り 方の違いを認識した上で、営業が持つ力を 信頼し、営業によって困難を克服し、営業を 適して社会や文化を創造しようとする態度 ・需薬を適して、自分のものの見方や考え方 を広げ深めようとするとともに、考えを伝え 合うことで、集団としての考えを発展・深化 させようとする態度 ・様々な事象に触れたり体験したりして感じた ことを営業にすることで自覚するとともに、 それらの営業を互いに交流させることを通 して、心を豊かにしようとする態度 ・営業を通じて積極的に人や社会と関わり、 自己を表現し、他者の心と共感するなど互いの存在についての理解を深め、尊重しよ うとする態度 ・政が国の言語文化を享受し、生活や社会の 中で活用し、継承・発展させようとする態度 ・自ら進んで読書をし、本の世界を想像した り味わったりするとともに、読書を通して 様々な世界に触れ、これを擬似的に体験 したり知識を獲得したり新しい考えに出会 ったりするなどして、人生を豊かにしようと する態度

JELES-47 11

#### 国語科における教育のイメージ

#### 【高等学校】

- ◎言葉による見方・考え方を働かせ、国語で的確に理解し効果的に表現することを通して、国語に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ①生涯にわたる社会生活や専門的な学習に必要な国語の特質について理解し適切に使うことができるようにする。
- ②創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を豊かにし、多様な他者や社会との関わりの中で、言葉で自分の思いや考えを深めることができるようにする。
- ③言葉を通じて伝え合う意義を認識するとともに、言語文化の担い手としての自覚を持ち、言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

#### 【中学校】

- ◎言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し適切に表現することを通して、国語に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ①社会生活に必要な国語の特質について理解し適切に使うことができるようにする。
- ■②創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を豊かにし、社会生活における人との関わりの中で、言葉で自分の思いや考えを深

  ◇ めることができるようにする。
- ③言葉を通じて伝え合う価値を認識するとともに、言語文化に関わり、言語感覚を豊かにし、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

#### 【小学校】

- ◎言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し適切に表現することを通して、国語に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- ①日常生活に必要な国語の特質について理解し使うことができるようにする。
- ②創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を養い、日常生活における人との関わりの中で、言葉で自分の思いや考えを深めることができるようにする。
- ③言葉を通じて伝え合うよさを味わうとともに、言葉の大切さを自覚し、言語感覚を養い、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

#### 【幼児教育】(※幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のうち、特に関係のあるものを記述

- ・身近な事象に積極的に関わり、物の性質や仕組み等を感じ取ったり気付いたりする中で、思い巡らし予想したり、工夫したりなど多様な関わりを楽しむようになるとともに、友達などの様々な考えに触れる中で、自ら判断しようとしたり考え直したりなどして、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。(思考力の芽生え)
- ・遊びや生活の中で、数量などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、必要感からこれらを活用することを通して、数量・図形、文字等への関心・感覚が一層高まるようになる。 (数量・図形、文字等への関心・感覚)
- ・言葉を通して先生や友達と心を通わせ、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付けるとともに、思い巡らしたりしたことなどを言葉で表現することを通して、言葉による表現を楽しむようになる。(言葉による伝え合い)

